別紙様式第11号

令和2年度　山村活性化支援交付金事業実施評価書

1. 事業名　　山村活性化対策事業

2. 事業実施主体名　　ソーシャルタウン今金町推進協議会

3. 事業概要

・事業目的
町内の地域資源である農産物（馬鈴薯、にんじん等）について、一次加工にとどまらず、二次加工、三次加工食品の製造までを視野に入れた一連の展開を図ることで、地域内完結型の産業ビジネスモデルを構築し、山村地域における雇用及び所得の増加につながるため各種事業を実施する。

・事業費(単位:円)　　10,005,739円　　交付額　　10,000,000円

・事業実施期間　　令和2年9月9日　～　令和3年3月31日

4. 実績評価

（1）　目標の達成状況等の総合的評価
地域資源の基礎情報や物流コストの整理を行うことで、持続的な経営計画のための基礎数値が把握できた。ウェブ会議システム等を活用しつつ、事業推進内容の共有を図ることができた。ヒアリング調査等のマーケティング調査によって、今金男しゃくの市場ニーズやジャガイモ加工品の方向性について検討可能な情報が集まった。
また、商談会の出展を通じて、販路の開拓を行うことができた。
今後は、引き続き、市場ニーズを探りながら試作品の改良・開発をすすめ、高次加工品の販売拡大による雇用や所得の向上を実現していきたい。

（2）　取組状況
ア．地域資源の賦存状況・利用形態等の調査を実施した。
活用する地域資源の基礎情報の把握や物流コストの整理といった調査を進めながら、計画する事業の持続可能な経営戦略を組み立てた。加工場を保有している事業者に視察を依頼するなどして、市況や今後の見通し、後発で展開するリスクチェックを行った。新たに開発する商品について試作テストを行い地域で生産する野菜の加工の相性を確かめるとともに、増設する加工場事業の事業計画の策定に役立てた。

イ．地域資源を活用するための合意形成／組織づくり／人材育成の取組を実施した。
当協議会が展開したい事業に精通する専門家のアドバイスを受けながら、事業参画者の求心力を高めるため、合意形成のための協議会開催、専門家招聘（ワークショップ・セミナー）、活動成果報告会及び地域住民意見交換会を開催した。

ウ．地域資源の消費拡大/販売促進/付加価値向上の取組を実施した。
市場調査（WEB調査）を通じて新たに開発する商品の訴求ポイントを探った。販路開拓方法についてのヒアリング調査等により同業他社の動向を研究した。不特定多数の観光客が訪れる近隣PA等において観光客誘客可能性検討調査を行った。

（3）　事業実績

1. 地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

①加工品開発のための原料調達/保管・物流調査
②先進地研修
③加工品の試作開発
④増設する加工場事業の計画検討

2. 地域資源を活用するための合意形成/組織づくり/人材育成の取組

①合意形成のための協議会開催（ウェブ会議中心）
②活動成果報告会（資料共有）

3. 地域資源の消費拡大/販売促進/付加価値向上の取組

①企業を対象としたアンケート及びヒアリング調査
②観光客誘客可能性検討調査
③販路開拓のための商談会への参加

（4）　実施体制

事業実施計画に基づいた実施体制やメンバーで事業に取り組んだ。特に問題なく事業に取り組むことができ、今後の事業の実現に向けても、本体制にて山村活性化の推進に取り組んでいきたい。

（5）　その他事項

特になし

5. 事業実施結果

・目標達成状況

	目標値	実績値	達成率
農産物加工場の従業員数	8	8	100%
加工商品アイテム数（開発数累計）	0	2	－
商談会参加数	0	1	－

（計測方法）

加工場を運営している事業者への聞き取り、成果報告会資料等による。

・所見

計画していた内容はほぼ滞りなく実行できていた。目標数値も達成しているため、順調に事業が進んでいる。
次年度より販路開拓が本格化してくるため、開発する商品の方向性も含め期待を寄せている。